

☆第3日曜日はファミリー読書☆
今月は6月19日です



来週末はいよいよ那覇地区中体連！3年生にとって3年間の部活動の集大成です。皆さんケガに気をつけて、悔いの残らないよう精一杯頑張ってください。良い報告が沢山聞けることを楽しみに待っています！

7月には運動会があります。毎日ジメジメと蒸し暑いですが、体調管理に気をつけて素晴らしい運動会になるよう日々練習頑張ってください。今月は平和に関する本をおススメの本コーナーにて紹介しています。

お知らせ

*6月の休館日

○1日休館

10日(金) 地区中体連夏季総体
23日(木) 慰霊の日

○放課後休館

7日(火) 会議のため
15日(水) 生徒会活動日
16日(木)・27日(月) 出張のため

*地域ボランティアによる朝の読み聞かせ

6月の後半から朝の読書時間に保護者・地域ボランティアによる読み聞かせがあります。詳しい日程は今のところ未定ですが、決まり次第担任の先生にお知らせして皆さんに連絡してもらいます。

5月の貸出状況

5月の貸出冊数(太字は多読クラス)					
	1組	2組	3組	4組	5組
1年	172	211	198	179	196
2年	278	273	370	391	
3年	356	406	883	544	

合計：4729冊 平均：10.5冊 不読者：45人

一番本を借りた学級は、**3年3組さん**でした。全クラス先月に引き続きたくさん図書館を利用していましたね。一年生の利用が少ないことが気になりますが、借りた本を最後まで読んでいる生徒が多いのだと思います。あまり目立つような場所ではありませんが、意識して図書館に来るようにください。

皆さん借りた本は最後まで読んでいますか？今月は『借りた本を最後まで読み切る！』ということを目指して読書してみてください。

☆1階階段横の掲示板上に、5月の多読者ベスト20位を掲載しています。

— 慰霊の日 —

6月23日は慰霊の日です。

一般住民を巻き込み、20万人あまりの尊い命が犠牲となった沖縄戦は、国内最大の地上戦でした。

その沖縄戦において、沖縄防衛第三十二軍司令官の牛島満中将と同参謀長の長勇少将が糸満の摩文仁で自決した日が、昭和20年6月23日の未明とされています。そしてこの日を、日本軍の組織的戦闘が終結した節目としてとらえ、**沖縄慰霊の日**が制定されました。

私たちが住む浦添市でも、当時約9千人あまりいた住民のうち、約4千人もの人たちが犠牲となりました。

終戦から今年で71年—。6月23日の慰霊の日を前に、私たち一人一人が戦没者のご冥福を祈り、平和への願いを受け継いでいきましょう。

沖縄戦に関するパネル展

図書閲覧室では、慰霊の日にともない

6/16(木)～6/22(水)の期間中、**平和パネル展**を開催しています。

目を背けたくなるような写真もありますが、70年以上前沖縄で実際に起きた出来事を物語ってくれる写真ばかりです。

「戦争」という悲惨な歴史を繰り返さないためにも、私たちはどうすればいいのか。この機会にあらためて、戦争とは？平和とは？命の尊さについて考えてみましょう。

また、沖縄戦や平和を学ぶ本も図書室のおすすめの本コーナーにて展示しています。詳しいことは裏面に掲載しています。

今月のオススメ *沖縄戦と平和を学ぶ本*

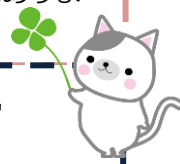


今月は沖縄戦と平和を学ぶ本を紹介します。

<p>『未来に伝える沖縄戦』 K916 ミ 新城 俊昭/著 沖縄時事出版 琉球新報で戦争体験者の話を県内の中高生がインタビューして聞いた話と、その話を聞いたインタビュアーの生徒たちの感想をまとめた一冊。</p>	<p>『私のひめゆり戦記』 099 ミ 宮良 ルリ/作 ニライ社 ひめゆり学徒隊として戦場で傷ついた兵士の手当てに努めた宮良ルリさんによる体験記録集。</p>
<p>『サニーのお願い 地雷ではなく花をください』 E 絵・葉祥明 文・柳瀬房子 自由国民社 いまだに解決していない地雷問題、1997年の地雷問題を絵本にしてわかりやすい内容になっています。全4巻で他の巻は絵本コーナーにあります。</p>	<p>『百年の愚行』 200ヒ Think the Earth プロジェクト/発行 紀伊國屋書店 この100年余りで人類は大きな発展を遂げました。その反面、数多くの環境破壊、戦争を繰り返してきました。人類がやってきた「100年の愚行」をまとめた写真集。</p>
<p>『キング牧師のカブよいことば』 E ドリーン・ラパポート/文 国土社 黒人差別が日常的に行われてきた1960年代アメリカ。差別をなくそうと立ち上がった人たちのリーダーとなったのはキング牧師でした。彼の生涯をたどる絵本。</p>	<p>『ぼくは13歳職業、兵士』 369オ 鬼丸昌也・小川真吾/著 合同出版 少年兵として銃を持たされ戦っている子どもたち。少年兵をなくすために世界中で取り組んでいること、日本からできることなど考えるキッカケになる本</p>

他にも・・・『アニメ絵本 かんからさんしん』、『戦場の「ベビー!」』、『ほたるの墓』など

沖縄戦や戦争について学ぶことで平和の尊さを知ることができます。しかし戦争が終わったとしても世界が平和になるわけではありません。根強く残る人種や性差などの色々な差別、人身売買、飢餓、紛争、テロ、身近なものだと基地について等、戦争がなくなってもこれらの問題が解決しなければ“平和”とは言えません。戦争だけでなく、いろいろな問題にも目を向けることが平和への第一歩になります。紹介している本はオススメの本コーナーにあります。平和について考えるきっかけになるとと思いますのでぜひ手に取って読んでみてください。



非核・平和沖縄県宣言

戦争は 無差別に破壊し尽くす
 すべての生命を

生活を

文化を

歴史を

自然を

太平洋戦争最後の地上戦があった

この地 沖縄

町や村が焼かれ

二十万余が命を奪われた

祖先が築き上げた文化遺産は失われ

地形をも変えた

その傷あとは 今なお癒えない

戦争 その悲惨な体験をいしずえとして

私たちは

世界の人々へ訴える

一切の核兵器と

あらゆる戦争をなくし

武器にかえて対話を

そして 愛と信頼で

地球を 平和に満ちたみどりの星にしよう

私たち沖縄県民は

「イチャリバチョーデー」を合言葉に

万国津梁の地の建設を希求し

世界の恒久平和を願ひ

声高らかに 非核・平和沖縄県を宣言する

平成七年/一九九五年六月二十三日

沖縄県



◇うらそえ YA 文芸賞作品募集◇

浦添市立図書館では毎年YA 世代（ヤングアダルト・中学生～大学生）が制作した短編小説&詩を募集しています。入賞者には賞状と副賞が授与され、入賞した作品はせ翻され浦添市立図書館や浦添市の学校図書館に蔵書されます。

詳しい内容は掲示板に掲示してあるポスター、もしくは浦添市立図書館のWEB ページをみるか、直接問い合わせてください。応募者には参加賞もあり、平成24年度の卒業生が入賞しています。興味のある生徒は応募してみてもはどうでしょうか？

【問い合わせ先】

〒901-2214 浦添市安波茶 2-2-1 浦添市立図書館「2016 うらそえ YA 文芸賞」係
 TEL:098-876-4946 ホームページアドレス: <http://library.city.urasoe.lg.jp/>